

2019年 春学期

社会科教材論 第8回

**討論形式の授業資料作り(2):
グループで実際に討論をして、
討論用の資料の構想を考える**

【確認】この授業で大切にしたい視点

1. 教材作りを単なるテクニツク的
な問題と考えないこと
2. 「良い教材って何だろう？」と
いう問いをめぐって、自分の心
境・考えの変化について、向き
合うこと
3. 完成品の教材の完成度よりも、
「教材を作るプロセス」に注
目・意識すること

今日の授業の目的共有

- 1. エビデンスカードを用いて、討論をやってみる。**
- 2. 最初に配布すると良い情報、途中で配布すると良い情報の仕分け・厳選をする。**
- 3. 導入で論点を5分以内に分かりやすく明示できる方法を考える。**
- 4. 次回までにお互いがやってくることを調整する。**
- 5. 冊子作成の見通しを立てる。**

授業やります

7~10回の授業の流れ

第7回 討論形式の授業資料作り(1): 討論形式の授業を分析する

第8回 討論形式の授業資料作り(2): グループで実際に討論をして、討論用の資料の構想を考える

第9回 討論形式の授業資料作り(3): 討論用資料を作成する

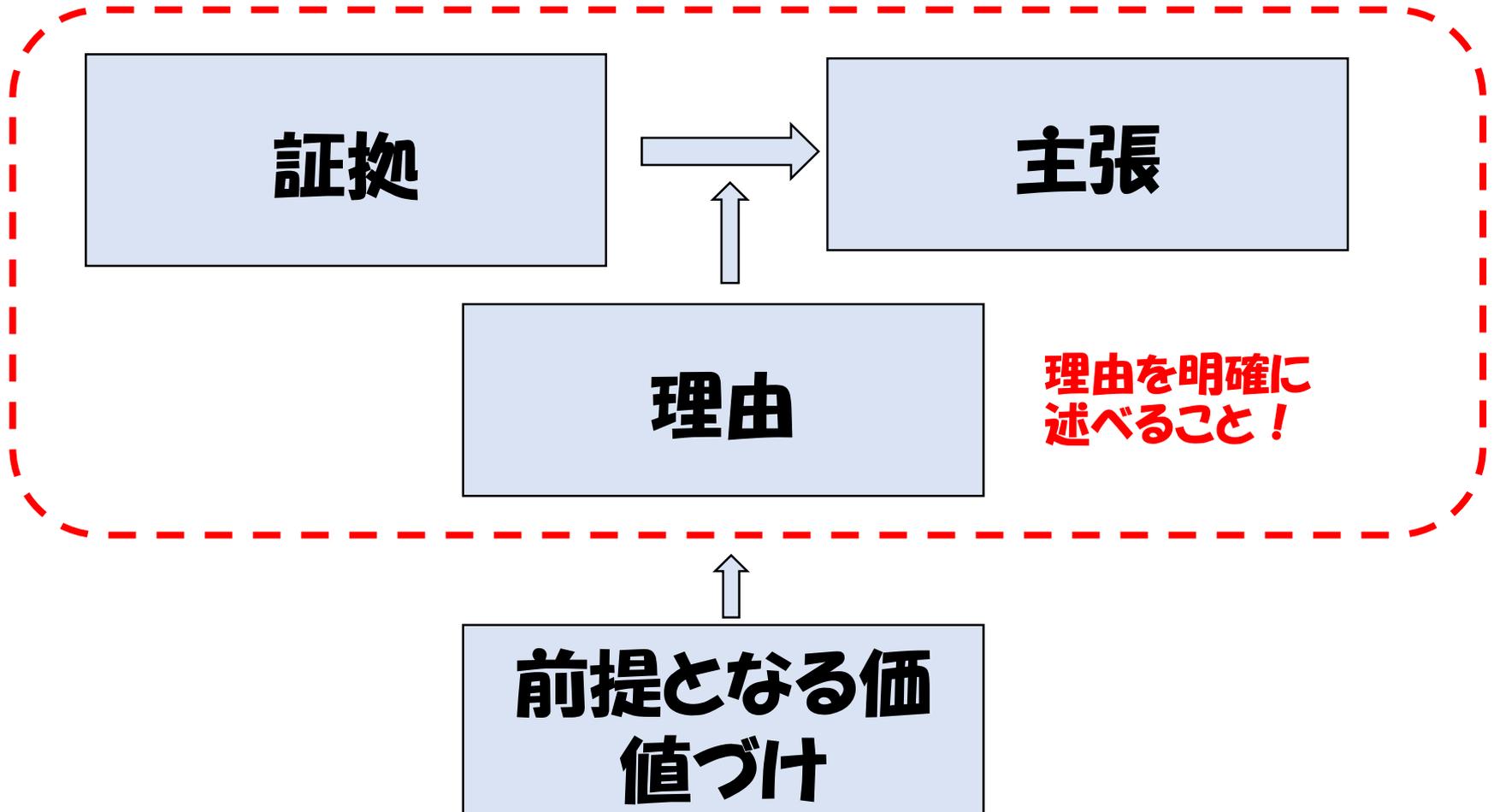
第10回 討論形式の授業資料作り(4): 20分の討論授業の実践と振り返り

討論をしてみましょう。

1. 先攻・後攻を決める。
2. 同じ意見の2人はお互いにエビデンスカードを見せ合っ
て、戦略を立てる(3分程度)
3. 先攻ターン(3分程度)
 - ・エビデンスカードは1人あたり2～3枚ずつ出す。
 - ・後攻が先行の主張を確認する質問をする。
4. 後攻ターン(3分程度)
 - ・エビデンスカードを2～3枚ずつ出す。
 - ・先行が後攻の主張を確認する質問をする。
5. 先攻ターン2回目
6. 後攻ターン2回目……必要があればもう1ターン
7. 自由討議(わちゃわちゃ論争する) 5分程度

討論の際に注意してほしいこと

エビデンス = 主張ではない。



では、討論会開始！

振り返り その1

分かりやすい資料を作る際に、
エビデンスカードの中から

(1)最初の時点で出すべき資料・情報

(2)討論①の後に出すべき資料・情報

(3)そのいずれでもないもの

の選別をする必要がある。

振り返し その2

**導入で論点を5分以内に分かりやすく
明示できる方法を考える。**

※配布資料を参照のこと

**※どうしても事前情報が必要な場合、
A4一枚程度の事前配布資料を
生徒役に配ることを認めます。**

学習内容は教材を介して理解できる。



教育内容



生徒

<知識・技能の伝達>



教育内容



教材



生徒

<「教材」を介した知識・技能の伝達>

- ・ 人物など
- ・ モノや道具
- ・ 新聞・書籍などの文章
- ・ 映像や画像・音声など
- ・ 施設・自然見学

次回にやること

**次回までに
やってほしいこと**

今後の見通しについて

- **来週の授業は基本自由時間とします。**
- **ただ、必ず一回、本番で生徒役にならない班の人に資料を見せて、コメントを貰う時間を作ります。**
(組み合わせは指定します。)

※フシ練習もせずに本番を迎えるのは、生徒役に失礼。

今後の見通しについて

仮でも良いので、「今後の見通しシート」を書いて、提出してもらいます。

提出時には、スマホなどで写真を撮ることをお勧めします。

【期間1】来週の授業までにしていくこと

【期間2】来週の授業の時間にすること

【期間3】再来週の本番までにしていくこと

※誰が何をやるのか？を明確化する。

※次回の授業で進捗状況を報告してもらいます。

「振り返り・記録シート」の記入

この授業では、「自分の教材観から見える、授業観」を見つめることを重視します。

自分の考えの変化、違和感、モヤモヤ感を出来るだけ、言語化するようにしてください。

(後で、自分の授業観を振り返るための重要な記録になります。)

これまでの感想と比べて、心境に変化はありますか？。

第8回 討論形式の授業資料作り(2)：グループで実際に 討論をして、討論用の資料の構想を考える

氏名 () 所属学部・学科 ()

1. エビデンスカードを分類する

資料・情報	どう加工・修正すべきか？
(1)最初の時点で出すべき資料・情報	
(2)討論①の後に出すべき資料・情報	
(3)そのいずれでもないもの	

導入5分に関する構想(提示資料・発問・役割分担)について

--

困ったらいつでも斉藤まで相談に来てください！

次週の討論形式の模擬授業に関する流れと要件

【今回の討論授業の形式について】

5分 導入・論点の明確化(資料を配布する)

役割決め

3分 生徒役の考えの明確化(ワークシート記入)

5分 討論①

・・・(より詳しい論点がわかる資料を配布する。)・・・

7分 討論②(最初の1~2分は読み込みでもOK)

・・・授業後、生徒役から感想シートを書いてもらう(3分間で)・・・

↓

授業者役・生徒役の組み合わせの交代

※授業の時間は20分ですが、大まかに時間を守ってもらえれば、後の進行はお任せします。

【各段階での主な要件】

1. 導入について

- 導入で、論点に感情移入がしやすいような、工夫をすること。
- 例えば、読み取り可能な提示資料などを示して、そこから生徒役に意見を聞くようなスタイルがあり得る。(一方的な説明だけの導入は避けて欲しい。)
- 提示する資料は、ネット上の画像(Yahoo画像とか)をある程度使って良いことにします。
- PCを数題持ってきて、パワーポイントを生徒役に見せても良いことにします。(今回は、これ以外のことに注力してほしいので)

2. 最初に配るワークシートについて

- 討論を開始する際に、ワークシートを配布すること。ワークシートは初見で見た人でも読み取りがしやすいように情報を厳選し、論点が分かりやすいような工夫をすること。
(ビジュアル面も読者のやる気を出す上では重要!)

3. 討論①の後の追加資料

- 最初のワークシートの情報だけでは読み取れない、重要な情報を厳選してリストアップすること。
- 生徒役が情報を読み取れる時間は限られているため、情報を厳選して読みやすい資料にすること。

4. 授業時の役割分担について

- 導入を含め、生徒役への指示・発問などを誰がいつするのか決めておくこと。
- 実際に討論を開始した際には、「ファシリテーター」としてグループでの会話に適宜反応すること
(できれば一度は練習をしておくこと)

※模擬授業後に、「グループ活動の振り返りシート」を記入してもらいます。誰か1人に負担が集中しないように皆で注意してください。

今後の見通しシート

下の「期間1」「期間2」「期間3」の各段階で、メインの調整役を◎、サブの調整役を○として設定し、記入すること。（作業が滞った時に、メイン、サブの調整役が主体的に動くことになる。）

	氏名（ ）	氏名（ ）	氏名（ ）	氏名（ ）
【期間1】 来週の授業 までにし てくること				
【期間2】 来週の授業 の時間に すること				
【期間3】 再来週の本 番までに してくる こと				